

今月のイチオシ

ブラタモリ



ブラタモリ(2)

NHK「ブラタモリ」制作班 (著)
角川書店

人気番組、NHK「ブラタモリ」の書籍版。河岸段丘の上に造られた天空の城下町「沼田」の新たな魅力満載。



我が闘争

堀江 貴文 (著)
幻冬舎



ざんねんないきもの事典

今泉 忠明 (監修)
高橋書店



コーヒーが冷めないうちに

川口 俊和 (著)
サンマーク出版



左遷社員池田 リーダーになる

鈴木 孝博 (著)
リーブル出版

公民館図書室利用時間
月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時

村公民館図書室の本を紹介します。
このほかにも、たくさん楽しい本が
皆さんを待っていますので、ぜひご利用
ください。



本とハッピー

はばたけ! 昭利村消防団

「仲間の輪」



第三分団長
竹之内 智史さん

川額地区を管轄している第3分団は、今年度29名の団員が所属しています。月2回、班ごとに機械器具の点検を行い、有事の際に備えています。非情に出席率の良い3分団は団結力があり、全ての行事に多くの団員が参加してくれます。色々な職種に就いている団員ですが、地元の皆様や家族の協力や理解があって消防団活動が出来ることに感謝しています。

ポンプ操法の順番の年は本当に申し訳なく思っています

これからも地元の安全、財産、生命を守るとともに、大切な交流の場となる消防団活動を続けていきたいと思えます。

地域包括支援センターだより

きずなサポーター誕生！～サロン活動を仲間と一緒に支えよう～

お互いに支え合う地域づくりと介護予防に大きな役割を果たすサロン活動の充実のため、「支え手は1人でなく仲間と一緒に！」と呼びかけ、村内30サロンの支え手99人が「きずなサポーター」として登録しました。

4月28日(金)地域活性化センターでおこなわれた第1回きずなサポーター会議には、21サロン49名の「きずなサポーター」の皆さんが集まり、サロン活動について話し合いました。

グループごとの話し合いでは「楽しみにしてくれる人がいるから頑張れる」「心も体も元気になる」などサロン活動が楽しいという意見が多く「いつも来る人が来ないと心配で、みんなで声を掛け合っている」と自然な見守りが生まれていることも分かりました。また「参加者を増やしたい」「男性の参加者が少ない」と課題も話し合われました。

最後には「サロンで一緒にできるレクリエーションやゲームを知りたい」などの希望がきかれ、これからのきずなサポーター会議で楽しく学んでいければと思います。



第2回きずなサポーター会議
6月30日(金) 午前9時半～ 地域活性化センター

ふるさと昭和 ～歴史を訪ねて～

第55回

貝野瀬村田岸にいた

高僧 牧堂 草牛

昭和村ボランティアガイドの会
事務局長 島田 民夫

糸之瀬村誌(昭和三十三年十月三十日発行)の「文化人」の中に牧堂草牛が紹介されている。今からおおよそ二百年前江戸時代の文化年間、貝野瀬村田岸に住んでいた。

京都六角堂住心院の直接の流れをくむ「華嚴寺」という修験派(法円)の家に生まれている。性を華嚴、幼名を牛三郎といった。生まれつき学問好きの秀才で、若い頃から立派な学者として郷土の青年達から慕われ、寺子屋を開いて多くの弟子を教え導いていた。

しかし、向学心に燃える彼はこれらに満足せず、たまたま「親和院」の住職という地位を与えられたのを機会に、意を決して京都に上り、名も「牧堂草牛」と改め、ますます学問をきわめていった。その名声はとみに高まり、ついには宮中に呼び出されることとなった。宮中に呼び出された牧堂草牛は指導役兼相談役を

仰せつけられた。

その後、勅僧大阿闍梨という位にのぼり、晩年は大津(滋賀県)の大慈山三井寺に入つて遷化(没)したと言う。

花嚴家代々の墓は田岸にあり、川龍寺で世話をしているとのことなので、華(か)嚴(ぎ)寺についての所在や、その子孫の様子など今橋憲雄住職にお話を伺いました。

華嚴寺があった田岸のおおよその場所や、その子孫は現在では僧ではなく「花嚴」という姓で東京渋谷において、広く活躍しているなどの事もお聞きした。



貝野瀬武尊神社

また、糸之瀬村誌の貝野瀬武尊神社の中に、現在の神社を造立した記録がある。

寛延三年(一七五〇)
宮司 門 武尊山華嚴寺良寛
工匠 群馬郡有間村斉藤氏知
記 同氏 募義

糸之瀬村誌参照

「恵まれた環境に感謝」

先日、小学生の頃に書いた将来の設計図を発見し見返してみると、ここには恥ずかしくて書けない程の高い理想が並べられていました。その理想と現実が程遠いですが、今私は周りにいる人たちのおかげで充実した毎日が過ごせています。

家には、毎日美味しいご飯を作ってくれる母がいるおかげで、病気をすることなく健康に過ごすことが出来ています。地元には、懐かしい話やくだらない話で盛り上げられる幼馴染みや友人がいます。大学には、切磋琢磨し合いなんでも話せる友人がいます。

改めて二十二年の人生を振り返ると、本当に恵まれた環境の中で生活していることを実感すると共に、これまで生まれ育った昭和村で大勢の人に支えられて今があるということに、心から感謝しています。

来年から私も社会人。今までお世話になった人たちに恩返しができるよう、立派な人間に成長していきたいと思えます。

次回の登場者は、高橋 琴美さん(23歳・大河原)です。



はっらっ
トーク



飯塚 京香さん
(22歳・宿)

次回登場者紹介

なかなか会えてないけど、またゆっくり遊ぼうね!